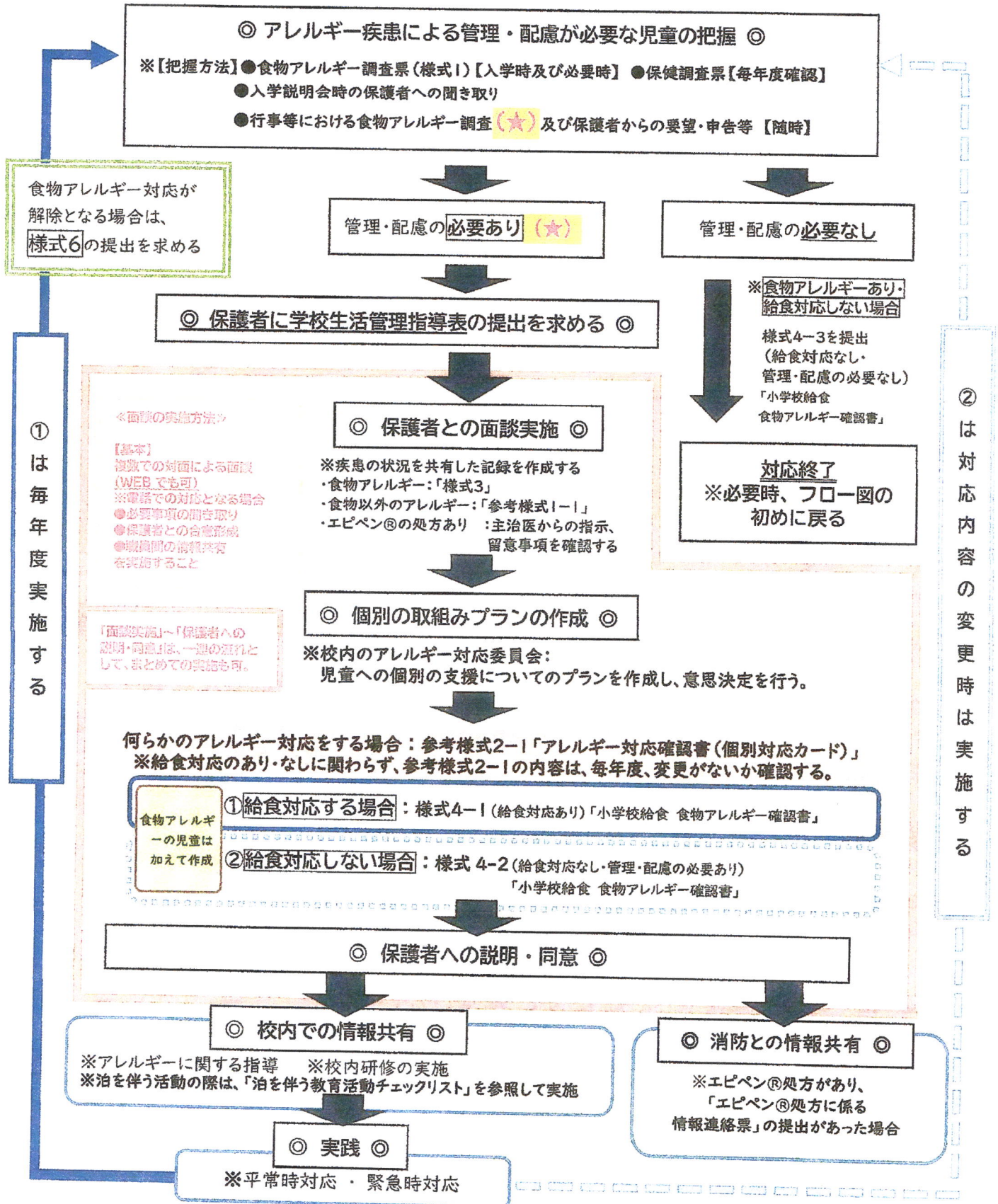


小学校におけるアレルギー疾患対応のフロー図（モデル例）



（★） 日常的な管理・配慮が不要であって、学校行事等の際のみ必要な場合は、その都度「必要あり」として対応する。

※特にアレルギー疾患以外の理由で給食において管理・配慮が必要な児童は、上記フロー図に準じた対応を行う。
 その際、保護者に「診断書」またはそれぞれの疾患等の「学校生活管理指導表」等の提出を求めたうえで、個別の対応プランを作成し、意思決定を行う。

アレルギー緊急対応マニュアル

アナフィラキシーを発症した! 対応の流れ

学校支援課

- 発見者 ① 発症者から離れない
② 助けを呼ぶ
③ エピペン®と内服薬、AEDを持ってくるよう指示

A 「学校での役割分担」へ

緊急状況があるか?
5分以内に判断を下す!

B1 「緊急性の判断」へ

ある

ない

B2 「緊急対応をする」へ

- ただちにエピペン®注射
- 救急車を呼ぶ(119番通報)
- 安静を保つ
- 可能なら内服薬を飲ませる

C 「エピペン®使い方」へ

- 必要があれば内服薬を飲ませる
- 保健室へ移動する
- 悪化がないか、5分おきに症状をチェックする

心肺機能に異常はないか?

ある

ない

・心肺蘇生を行う

・症状チェックしながら救急車を待つ

・随時、容態や対応の記録をとる

A 学校での役割分担

◎各配置人数に応じて各々の役割を確認し、シミュレーションをしておくこと

管理職 (観察と応援要請)

- 現場に到着次第、リーダーとなる
- エピペン®の使用または介助
- 児童生徒支援課に一報 (随時、報告を入れる)
- それぞれの役割の確認及び指示
- 心肺蘇生やAEDの使用

発見者 (観察と応援要請)

- 発症者から離れずに容態を観察する
- 助けを呼ぶ
- 他の教職員に「準備」「連絡」を依頼
- 管理者が到着するまでリーダー代行となる
- エピペン®の使用又は介助
- 薬の内服介助
- 心肺蘇生やAEDの使用

(準備)

- 「アレルギー緊急対応マニュアル」を持ってくる
- エピペン®の準備
- AEDの準備
- 内服薬の準備
- エピペン®の使用又は介助
- 心肺蘇生やAEDの使用

(連絡)

- 救急車を要請する (119番通報)
- 管理職等への連絡
- 保護者に連絡する
- さらに人を集めて、記録やその他の応援を依頼する

(記録)

- 観察開始の時刻を記録
- 救急車要請の時刻を記録
- エピペン®使用時刻を記録
- 内服薬服用の時刻を記録
- 5分おきに容態を記録

(その他)

- 他の児童生徒への対応
- 救急車の誘導

B 緊急性の判断と対応

- ◎ アナフィラキシー症状を発見したら、5分以内に判断を下す
- ◎ 対応に迷ったらエピペン®を打ち、ただちに救急車を要請する

B-1 緊急性の判断

〔全身の症状〕	〔呼吸器の症状〕	〔消化器の症状〕
<input type="checkbox"/> ぐったり	<input type="checkbox"/> のどや胸が締めつけられる	<input type="checkbox"/> がまんできない腹痛が続く
<input type="checkbox"/> 意識もうろう	<input type="checkbox"/> 声がかすれる	<input type="checkbox"/> くりかえし嘔吐する
<input type="checkbox"/> 尿や便をもらす	<input type="checkbox"/> 犬がほえるような咳をする	
<input type="checkbox"/> 脈が触れにくい、または不規則	<input type="checkbox"/> 息がしにくい	
<input type="checkbox"/> 唇や爪が青白い	<input type="checkbox"/> 強い咳き込みが続く	
	<input type="checkbox"/> ゼーゼーする呼吸	

↓
はい 1つでも当てはまるか いいえ

B-2 緊急対応をする!

- ① ただちにエピペン®を打つ C 「エピペン®の使い方」へ
- ② 救急車を要請する(119番通報)
- ③ 足を15~30cmくらい高くして床に寝かせる
嘔吐があれば、窒息を防ぐため、身体と頭部を横に向かせる
呼吸が苦しくて横になれぬ場合は、上半身を起こして壁に寄りかからせる
- ④ 容態を観察しながら救急車を待つ
- ⑤ 10~15分たっても症状が変わらなければ、2本目のエピペン®を打つ(2本目がある場合)
- ⑥ 反応も呼吸もなければ心肺蘇生を行う

- ・内服薬があれば飲ませる
- ・保健室へ移動する
- ・5分おきに容態をチェックする

C エピペン®の使い方

① ケースからエピペン®を取り出す

・ケースのカバーを開けて、エピペン®を取り出す



② しっかり握る

・オレンジ色カバーを下に向け、グーでエピペン®本体をしっかり握る



③ 安全キャップを外す

安全キャップ



・青い安全キャップを外す



④ 太腿に注射する



・太腿の外側にオレンジ色の先端を当て、「カチッ」と音がするまで強く押し当てる
・当てたまま、5つ数えてから抜く
・押し当ててすぐに抜いてはいけない



⑤ 確認する

・オレンジ色カバーが長く伸びているかを確認する



⑥ マッサージする

・太腿を10秒間、マッサージする



⑦ エピペン®を持参

・使用済みエピペン®を病院へ持参する
・医師に渡す

学校安全教育計画

項目		4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3
道徳	規則尊重	生命尊重	思いやり・親切	勤勉・努力	明朗・誠実	思いやり・親切	家庭愛	勇気	勤勉・努力	節度・節制	愛校心	
	生活	・地域探検時の交通安全	・野外観察時の交通安全 ・移植ごて、スコップの使い方	・公園までの交通安全 ・遊具の使い方	・虫探し、まち探検時の交通安全	・はさみ、カッターナイフの使い方	・たけひご、つまようじの使い方		・はさみ、ステープラーの使い方	・カッター、ナイフの使い方	・ガスコンロの使い方	・移植ごての使い方
	理科	・野外観察時の交通安全 ・アルコールランプ、虫めがね、移植ごての使い方	・カパーガラス、スライドガラス、プラスチックの使い方	・スコップ、ナイフの使い方	・夜間観察の安全 ・試験管、ピーカーの使い方	・地震による土地の変化(6年) ・観察中の安全 ・プラスチック、ガラス管の使い方	・太陽観察時の注意 ・台風と天気の変化(5年)	・ポリ袋、ゴム風船の使い方	・鏡、凸レンズ、ガラス器具の使い方	・バーナー、蒸発皿の使い方	・針金、プラスチックの使い方	・塩酸、水酸化ナトリウムの取扱い方
	社会					私たちの国土(台風)(5年)					阪神大震災(5・6年)	くらしを守る(災害が起きて)(3・4年)
	図工	・はさみ、カッターナイフ、絵の具、接着剤の安全な使い方	・コンパスの安全な使い方	・のこぎり、小刀、金づち、くぎ抜き、くぎの使い方	・木づち、ゴム、電動のこ、ニスの使い方	・写生場所の安全な選定	・彫刻刀の管理と使い方	・ラッカー、シンナーの取扱い方	・竹ひご、細木の使い方	・小刀の管理と使い方	・陶器作製時の注意	・共同作品作製時の安全
	家庭	・熱湯の安全な取扱い方 ・ガスコンロの使い方	・針、はさみの使い方	・実習時の安全な服装の選び方 ・包丁の使い方	・食品の取扱い方 ・調理用具、器具の安全な使い方 ・洗たく機の使い方	・ミシンの使い方	・アイロンの使い方	・快適な住まい方 ・暖房器具の使い方	・住宅用洗剤の使い方	食品の日付表示	・油の安全な取扱い方 ・フライパンの使い方	・調理用具・器具の安全な使い方
安全	体育	・固定施設の使い方 ・運動場の安全確認	・鉄棒運動時の安全	・水泳前の健康観察 ・水泳時の安全		・集団演技、行動時の安全	・マット、跳び箱運動時の安全	・けがの防止(保健)	・ボール運動時の安全	・持久走時の安全	・跳躍運動時の安全	・固定施設利用時の安全
	総合的な学習の時間	情報モラル(3~6年)、「町たんけん」(3年)、「安全マップづくり」(全学年)										
教育	低学年	●通学路の確認 ◎安全な登下校 ●安全な給食配膳 ●子ども110番の家	●休み時間の約束 ◎遊び場や行き帰りの安全 ●遠足時の安全 ◎交通安全教室	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ◎不審者対応	●夏休みの約束 ◎自転車乗車時の約束 ●落雷の危険	●運動時の約束 ◎校庭の使い方のきまり	◎乗り物の安全な乗り降り ●廊下の安全な歩行の仕方	◎災害時の正しい行動の仕方 ●安全な集団行動	●暖房器具の安全な使い方 ◎冬休みの安全な過ごし方	◎「おはし」の約束 ●安全な服装	◎身近な道路標識	●1年間の反省 ◎けがをしないために
		●通学路の確認 ●誘拐の起こりやすい場所 ◎安全な登下校 ●安全な清掃活動	●休み時間の安全 ◎子ども110番の家 ●遠足時の安全 ●道路での自転車乗車のきまり	●雨天時の安全な過ごし方 ◎安全なプールの利用の仕方 ◎不審者対応	●夏休みの安全な過ごし方 ◎交通安全教室 ●落雷の危険	●運動時の安全な服装 ◎校庭での安全な過ごし方	◎電車、バス内での安全な過ごし方 ●校庭での安全な遊び方	◎災害時の正しい行動の仕方 ●安全な集団行動	●暖房器具の安全な使い方 ◎冬休みの安全な過ごし方	◎「おはし」の約束 ◎災害時の安全	◎自転車に關係のある道路標識	●1年間の反省 ◎けがをしやす時間と場所
	高学年	●通学路の確認 ◎安全な登下校 ◎交通安全から身を守る ◎身の回りの犯罪 ●委員会活動の意義	●休み時間の事故とけが ◎防犯にかかわる人たち ◎交通機関利用時の安全	●雨天時の事故とけが ◎情報モラル ◎不審者対応	●自転車の点検と整備の仕方 ◎夏休みの事故と防止策 ●落雷の危険	●運動時の事故とけが ◎校庭で起こる事故の防止	◎電車、バス乗車時の事故とけが ●校庭の安全点検	◎災害時の正しい行動の仕方 ●安全な集団行動	●暖房器具の安全な使い方 ◎冬休みの事故やけが	◎災害時の安全・携行品 ●安全な身支度、衣服の調節	◎交通ルールと標識	●1年間の反省 ◎けがの種類と応急処置
	児童会活動	・代表委員会 ・前期委員会開始 ・対面式(1年生)	・クラブ活動開始 ・児童集会	・児童集会	・児童集会	・運動会準備、運営 ・児童集会	・児童集会 ・後期委員会開始 ・児童会祭り	・児童集会	・児童集会	・児童集会	・児童集会	・6年生を送る会 ・児童集会
安全管理	対人管理	・安全な通学の仕方 ・安全なきまりの設定	・遊具の安全な使い方 ・校内での安全な過ごし方	・安全な避難の仕方 ・プールでの安全なきまりの確認	・自転車乗車時のきまり、点検・整備	・校庭や屋上での安全な過ごし方		・暖房器具の安全な使い方	・災害時の身の安全の守り方	・道路標識の種類と意味	・1年間の人的管理の評価と振り返り	
	対物管理	・通学路の安全確認 ・安全点検、整備 ・年間計画の確認	・安全点検、整備 ・通学路の安全点検	・安全点検、整備 ・通学路の安全点検	・安全点検、整備 ・通学路の安全点検	・安全点検、整備 ・通学路の安全点検	・安全点検、整備 ・通学路の安全点検	・安全点検、整備 ・通学路の安全点検	・安全点検、整備 ・通学路の安全点検	・安全点検、整備 ・通学路の安全点検	・安全点検、整備 ・通学路の安全点検	
学校安全に関する組織活動		・教職員、保護者の街頭指導(見守り) ・防犯プザー配布 ・非常時待避児童名簿作成	・地域の危険箇所点検 ・春の交通安全運動	・6/28引取訓練 ・学校安全委員会 ・6月18日市防災日	・地域パトロール	・秋の交通安全運動の啓発と街頭指導 ・通学路点検 ・国民防災の日(1日)			・年末パトロール ・地域教育懇談会			

※学級活動の欄 ◎…1単位時間程度の指導 ●…短い時間の指導

10. 安全点検表

安全指導部

点検場所

点検者

点検場所
:
:
:

点検者

点検項目		6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
教室	釘類が体に触れやすくなっていないか										
	床板に釘やささくれが出たり、破損していないか										
	床がすべりやすく、転倒のおそれはないか										
	掲示物の画びょうや、壁などにかげられてあるものが、落ちそうになってないか										
	窓や窓ガラスの破損はないか、外れやすすくないか										
	出入り口の戸は外れやすすくないか										
	机や椅子は破損していないか、釘やささくれはないか										
	スイッチ、コンセントなどに、危険はないか										
	清掃用具入れの扉が破損したりはずれやすすくないか										
	棚の上の物品は、落下のおそれがないか										
廊下・渡り廊下・階段	刃物、干枚通しなどの危険なものは、安全にほかんされているか										
	カーテンが破れたり、輪が外れたりしてないか										
	内壁に亀裂はないか、雨漏り等はないか										
	廊下が滑りやすく転倒のおそれはないか										
	床の破損はないか										
	通行の妨げになるものが放置されていないか										
	窓ガラス、戸などが外れたり、倒れたりするようなことはないか										
	廊下につられた物品は、落下のおそれはないか										
	階段の滑り止めは、摩耗、破損していないか										
	足ふきマットが破損してたり、滑りやすすくないか										
便所	靴箱は転倒防止がされているか										
	扉は破損していないか										
	足場が滑りやすく転倒のおそれはないか										
	窓や窓ガラスが外れやすくなっていないか										
	汚水は速やかに流れ、破損はないか										
	理科室	ガスの元栓、分岐線は使用時以外は閉められているか									
	消化器等の用意はあるか										
	危険な薬品の貯蔵と管理はよいか										
	木工室	刃物は安全なところに保管されているか									
	用具は種別ごとに定位置に保管されているか										
家庭科室	床に針が落ちていないか										
	火器の取り付けや取り扱いがよいか										
	包丁等刃物の保管はよいか										
	消化器等の用意はあるか										
	音楽室	楽器が安全に置かれているか									
	スイッチ、コンセントなどに、危険はないか										
	PC室	機器は安全に設置されているか									
	スイッチ、コンセントなどに、危険はないか										
	多目的教室	暗幕やスクリーンなど不具合はないか									
	床や壁に破損箇所はないか										
運動場	出入口、扉に破損はないか										
	スイッチ、コンセントなどに、危険はないか										
	危険なものが落ちてないか										
	固定施設に危険箇所はないか										
	砂場に危険性はないか										
	排水溝が整備されているか										
	体育館	フロアがささくれたり、破損していないか									
		窓や窓ガラスの破損はないか、外れやすすくないか									
		照明やスイッチ、コンセントなどに危険はないか									
		体育用具の保管はよいか									

チェック欄
処置必要な場合× 異常のない場合○ 該当箇所でないところは空欄

清掃担当場所をお願いします。
特別教室は教室一般の項目もお願いします。

※上記の項目以外で、何かあれば下記にご記入下さい。

11. 事件・事故及び災害対策本部

重大な事件・事故および災害が発生した場合、教職員は、役割分担に従って行動する。

役割	名前	対応内容	その他
本部	校長 教頭 教務主任	全体の状況把握・必要な指示 警察（110）、消防（119）等との連絡 保護者・報道機関との対応、教育委員会への報告・ 支援要請 再発防止・学校再開のための総括	
渉外班	教頭 教務主任 PTA 担当	適宜状況把握・校長への報告・連絡 広報の準備・記録・報告の準備	
情報班	生徒指導担当者 主事など	状況把握（事件・事故、地域の安全、学校安全） 問題点の整理	
安全救 護班	学級担任 養護教諭 保健主事など	避難場所・経路の設定 児童の誘導・点呼・状況把握 負傷者の実態把握、応急手当、搬出、負傷児童の保 護者への連絡。学校医、医療関係などとの連絡 救急車同乗および搬送先からの連絡 心のケア	
教育再 開班	教頭 教務主任 学年主任 （学級担任）	学習場所・用具の確保 指導体制の整備	
再発防 止対策 班	教頭 安全担当 保健主事など	安全教育・安全管理の充実策の検討 保護者・地域・関係機関などとの連携方策の検討・ 改善 危機管理マニュアル・組織の見直し	

休日・夜間災害時における参集体制

配備体制	配備基準	参集体制
1号配備	災害の恐れがあるが、時間・規模等の推測が困難な時	校長 教頭
2号配備	小規模な災害が発生または発生の恐れがある時	校長 教頭 教務主任 指導教諭
3号配備	中規模な災害が発生または発生の恐れがある時	校長 教頭 教務主任 指導教諭 学年主任
4号配備	大規模な災害が発生または発生の恐れがある時	全職員

12. 校外学習時の安全対策

計画作成段階

- 計画を作成する段階で、必ず下見を行い、危険箇所などについてチェックをする。
- 緊急事態に備えて学校への連絡手段（携帯電話）を携帯する。
- 経路や活動場所における病院・警察など緊急施設の確認（住所・電話・名称など）をしておく。（名称と電話番号は、保護者への案内プリントに明記しておく）

事前準備段階

- 児童への安全指導を十分に行うこと。
- 児童には万一の場合の対処の仕方（助けを求める・逃げる・信頼できる大人に話すなど）を指導すること。
- 当日は、保護者と緊急連絡をとれる体制をつくり、緊急施設の連絡先を持参すること。

安全対策チェックポイント

チェックポイント	備考
<input type="checkbox"/> 事前に現地調査（下見）を詳細に行い、危険箇所をチェックしているか <input type="checkbox"/> 児童に対して事前に安全指導を行っているか。 <input type="checkbox"/> 宿泊先などの避難経路や見学先の危険箇所などを説明しているか。 <input type="checkbox"/> 無理のないスケジュールを組んでいるか。 <input type="checkbox"/> 事前に児童の健康チェックを行っているか。 <input type="checkbox"/> 炊事を伴う場合などは、火気管理・衛生管理を徹底しているか。 <input type="checkbox"/> 運動を伴う場合は、準備運動を十分にしているか。 <input type="checkbox"/> 引率の教職員は名札を着用しているか。 <input type="checkbox"/> 引率の教職員は児童の管理に必要な人数以上を同行させているか。 <input type="checkbox"/> 同行する教職員について、安全対策の責任者や各自の任務分担を決めているか。	特に初めての場所
<input type="checkbox"/> 救命用具や救急薬品を用意し、十分な人数の救助体制を確保しているか。 <input type="checkbox"/> 適宜点呼を実施し、確実に人員を把握するようにしているか。 <input type="checkbox"/> 帰校後、安全に関する反省を行い、その内容を次回に生かしているか。	応急手当の習得をしておく

事故などへの緊急対応

児童の安全を第一に考え、引率者は現地で緊急対応（応急手当、救急車の要請、学校への報告、保護者への連絡、他の児童の指導など）を行う。

保護者には、動揺させない配慮とともに、誠意ある対応をする。児童には、安全に避難させると同時に、精神的に動揺させないように指導する。

報告・連絡・相談（ホウレンソウ）を踏まえ、適切・迅速・正確な対応をする。

13. 運動会・オープンスクール時の対応

留意事項

- 運動会やオープンスクールなどのように多数の来校者がある場合は、PTA運営委員会等の応援を求め、来校者のチェックや案内体制を整える。
- 多数の来校者が予想される場合は、来校者証の事前発行を行い、また、当日のチェック体制等を全教職員に周知しておく。
- 来校者への開放区域を明確にするために、「立入禁止」の立て札やロープを張る等の工夫をする。
- 関係者には、事前に実施要綱を配布し、その中に危機対応として、子どもの安全を最優先とした子どもの安全確保の方法、校内への連絡方法、不審者への対応方法、来校者への対応方法などを記載しておく。

受付体制

- 安全監視員は通常の監視業務を行う。
- PTA役員・各委員を中心に保護者の協力を募り、受付と警備を依頼する。受付・警備当者には、腕章等を配布する。
- 来校者に「来校者証」を提示してもらい、確認した者について校内に入ってもらう。
- 来賓は、招待状を持参するので確認の後、来賓受付に案内する。
- 当日「来校者証」を持参しない参観者（同伴家族・地域の人など）には、「予備来校者証」（マイタック等で作成したもの）を配布し、着用するよう依頼する。

不審者が侵入した場合の対応

- 挙動不審な者が侵入した場合は、直ちに本校教職員に連絡をし、不審者が児童に近づかないよう、冷静に対応する。できれば、2階会議室などに連れて行く（興奮させない）。
- 近くに児童がいる場合は、児童をその場から遠ざける（安全確保最優先）。
- 不審者が突然攻撃的な行動をするなど、緊急の場合は、笛を吹くなどして知らせる。むやみに不審者に立ち向かわないこと。

緊急時の対応

- 万一不審者が侵入した場合は、「不審者緊急対応マニュアル」により対応する。
- 運動場に不審者が現れた場合は、近くの教職員で取り囲み、児童に近づけないようにすること。その際、保護者にも協力を求める。また、児童をその場から遠ざけ安全を確保すること。
- 運動場以外で緊急事態が発生し、緊急放送を行い、状況を知らせる。その際、児童の安全を確保し、保護者にも説明し協力要請する。
- 放送により指示を行い、避難または待機を行う。